



すみだ×新日本フィルハーモニー交響楽団 フランチャイズ30周年 「街とホールとオーケストラと」

「墨田区と新日本フィルハーモニー交響楽団は、芸術文化の限らない進展に寄与し、併せて、その成果に限りなく尊敬と愛情を抱く墨田区民による音楽都市の実現をめざして、共にもてる能力と情熱のすべてを傾けて協力し合うことを約束する。」

これは今からちょうど30年前の昭和63年(1988)、墨田区と新日本フィルとの間で取り交わした

フランチャイズ覚書の一部です。昭和60年(1985)、両国に復帰した国技館の歓迎祝賀行事として行われた「国技館50000人の第九」をきっかけに、地域文化の向上と活性化を図ることを目的とした墨田区の音楽都市づくりがスタートしました。

1980年代後半から文化行政のキーワードとして「モノの豊かさから心の豊かさへ」とうたわれ、1990年代には全国で約600館の公立文化施設が新設されました。同時に、「ハード(ホール)あれどソフト(企画)なし」と批判され、専門スタッフの不在、管理本位の規則主義、多目的ホールは無目的ホールと問題になりました。

狙ってフランチャイズ・オーケストラ制度を導入すること、オーケストラにとって楽器の一部と言われるホールを拠点にすることしました。お互いがウインウインの関係だったのです。

平成9年(1997)すみだトリフォニーホールは東京東部地区を代表するコンサートホールとして開館、以来新日本フィルは定期演奏会、特別演奏会を行うほか、墨田区の学校体育館や小中学校の音楽授業、各種施設を訪問など、地域に根差した演奏活動も精力的に行っています。

現在、トリフォニーホールを運営する(公財)墨田区文化振興財団では「音楽のバリアフリー」を意図してさまざまな事業を行っています。バリアフリーというと、エレベーターなどの「ハード」をイメージしますが、私たちの考えるバリアフリーは、公演内容、入場料金、実施場所、鑑賞環境、開催時期などの「ソフト」を指しています。幅広い客層を意識した出演者や曲目などの公演内容、区民や学生のための割引や転入者・新成人の無料招待などの料金設定、トリフォニーホール以外の例えば学校や福祉施設等の会場、未就学児や障がい者が鑑賞しやすい環境づくり、平日昼間やニューイヤール、大晦日の各コンサートなどの開催時期で



上岡敏之(新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督)
©堀田力丸

「すみだの人たちの文化的な誇りになりたい。」と新日本フィル音楽監督・上岡敏之さんは言います。そして私たちの夢は、27万人の墨田区民全員にすみだトリフォニーホールで新日本フィルを聴いてもらうことです。次のフランチャイズ40周年に向けて、トリフォニーホールと新日本フィルは、もてる能力と情熱のすべてを傾けて協力し合い、すみだの皆様にとって身近なホールとオーケストラでありたいと思っています。

(公益財団法人)墨田区文化振興財団
音楽事業係長 上野喜造



新日本フィルハーモニー交響楽団 at すみだトリフォニーホール
©K.Miura

みんなの夢が未来をつくる

すみだの夢

応援助成事業

ふるさと納税で
地域の活動を応援！



■すみだにあふれる「夢」
「地域を盛り上げたい」「新しいことにチャレンジしたい」「地域の困りごとを解決したい」そんな思いを持って活動している方々が、区内には大勢います。それぞれの活動分野や内容は個性があつてバラバラですが、どの活動も「すみだを良くしたい」という共通の目的でつながっています。

こうした地域を元気にする活動（すみだの夢）を、活動に共感する方一人一人が、ふるさと納税を通じて応援できる仕組みができました。

■ふるさと納税×クラウドファンディング
自治体へ寄付することで翌年税額控除が受けられる『ふるさと納税』と、インターネットを活用して不特定多数の人から資金を調達する『クラウドファンディング』。この2つを組み合わせた「すみだの夢応援助成事業」は、助成を受ける団体が、活動内容や目標額をインターネットに掲載して寄付を募り、共感した寄付者が、その活動を支援するための寄付として、ふるさと納税できるものです。

寄付者は少ない自己負担で活動を応援することができ、団体は活動をPRすることで全国から共感(寄



設置場所：緑町公園（亀沢2-7-7）北斎通り側
緻密に作られたモザイクをぜひ見に来てください！

付)を集めるチャンスとなります。

■みなさんの応援により完成したモザイクアート
2018年3月、すみだ北斎美術館前にある緑町公園に、葛飾北斎の「凱風快晴」をモチーフにしたモザイクアートが設置されました。このアートは、「すみだの夢応援助成事業」を通じてご支援いただいた62名の方からの寄付金をもとに作られ、感謝の気持ちとして一人一人のお名前を彫り込んだ石が周囲に埋められています。

プロジェクトを実施したのは、NPO法人エコ平坂・防塵マスク支援協会。墨田区内の福祉作業所に通う障がい者の方と一緒に作品の製作を行い、就労支援につなげることも


に、多くの方の目に触れる場所に設置することで、彼らの持つ能力を社会に発信するツールとなりました。

■今年も動き出す「夢」プロジェクト
今年度は4つのプロジェクトが助成対象として選ばれ、8月から年末にかけてクラウドファンディングに挑戦します。

昨年引き続き2度目の挑戦となるのは、NPO法人寺島・玉ノ井まちづくり協議会が取り組む「たまんじ交流農園」プロジェクト。前回 は地元の方からの共感を多く集め、見事目標額を達成しました。緑の少ない墨田区に、自分たちの手で農園を作ってしまったという大胆な発想から始まりましたが、何度も説明会を開催したり、メンバーが楽しんで活動する様子を見て、続々と有志のボランティアが集まったそうです。昨年度の助成で整備した一部の畝では、順調に野菜等が育っており、収穫した作物を味わう交流イベントも開催していく予定です。

参加メンバー募集中
ご興味のある方は団体へ
【090(3222)2688】
その他にも、パラリンピック選手が競技大会のパブリックビューイングを開催する等、個性あふれるプロジェクトがそろういます。共感する

プロジェクトへの寄付は右記QRコード
または **すみだの夢応援助成事業** で検索！
※各プロジェクトの詳細もこちらからご覧下さい。



【問合せ】墨田区 地域力支援部 地域活動推進課
TEL:03-5608-6705
メール:KATSUDOSUISHIN@city.sumida.lg.jp



ボランティアの手作業で農園を作り上げています。

ものを見つけたら、支援者として「すみだの夢応援助成事業」に参加して一緒に「夢」の応援をしませんか？
(地域活動推進課)